



学校法人永原学園
さんこう
児童クラブ通信

令和7年6月発行
— 第3号 —

【三光幼稚園】

TEL:0952-31-0753

【さんこう児童クラブ携帯】

TEL:090-7430-1312

つながるって？

4月後半から6月初めの間に、市内にある17の小学校訪問をしました。最多32名が通う神野小から、1名だけの入学者が3校と、会える卒園児さんの数はまちまちですが、みんな再会できた嬉しさを笑顔で返してくれます。

5月に入った1年生の授業は、文字での表記が増え、壁面に掲示された各自の絵日記には、担任の先生からやさしいコメントが付けられていました。担任の先生との信頼関係もできてきたことが分かり、安心しました。

一方、児童クラブに帰ってきた子ども達も、段々と落ち着きが出てきて、宿題を済ませると好きなことを楽しむまでになりました。

写真の場面のように、学生さんの興味津々の活動に出くわすこともあり、嬉しい体験をもらいました。このような体験がこれからのクラブでの遊びに加わり、学校での授業でも思わぬ発想力に繋がることもあるかもしれませんね(^)。子ども達がどんなことに興味を持っているか、やりたいこと等、たくさんお話をして見つけていきたいと思います。



お知らせ 虫よけ対策(スプレー等)をお持たせいただいて構いません。

今年も！早くも蚊が増えてきました！

蚊に刺される子も増えていきますので、使用を希望される方は、名前を書いて、お持たせください。安全に留意し、保管は事務室で行い、対応も職員が行います。

【虫探しに夢中です！】



よし、みんなで行ってみよう！！



この辺に
いるかなあ？

怖がる子は全くおらず、「かわいいね！」と見せ合う子どもたちです(*^-~*)

【ロケット発射！！】

短期大学の学生さんがペットボトルで作ったロケットを、空気入れを使って飛ばしていました！興味をもった子どもたちが見ていると、なんと体験させていただけることに✦



「〇〇頑張れー！！」

飛ばかな？
どきどき。。

充実感のある学生さんとの交流でした(*^-~*)

6月の目標

「整理整頓・片付けをしよう！」

ロッカーの中の整理整頓、使ったものの片付けを頑張りましょう。次の遊びをする時や、帰る時、使ったものを片付けてからできるようになりたいですね★

6月の学童児童数

	在籍者数	休所者数	利用者数	そのうち新規 入所者数	5月末 退所者数
1年生	13	0	13	0	0
2年生	4	2	2	0	0
3年生	13	1	12	0	1
計	30	3	27	0	1

寄稿：西九州大学・西九州大学短期大学部の窓から

守りたい！子どもの視力

西九州大学看護学部看護学科 鈴木 雅子

皆さま、6月10日は何の日かご存知でいらっしゃいますか？

2023年に公益社団法人日本眼科医会は「はぐくもう！6歳で視力1.0」という願いを込めて、6月10日を『こどもの目の日』に制定しました。

文部科学省による令和6年度学校保健統計の結果では、裸眼視力1.0未満の割合が6歳未満の幼児は26.5%、小学生は36.8%、中学生は60.6%と年齢が上がるにつれ低視力者が増加していることを報告しています。

子どもの視機能は3歳から6歳にかけて大人と同じ視力の程度に達するとされています。しかし、見えている物を言葉として表せるのは4歳ごろになります。そのため、子どもたちが受ける視力検査は3歳未満では蝶々や魚の絵を指で差す「絵指標」、3歳6か月頃になると輪が一部分切れている（ランドルト環といいます）「字ひとつ指標」を用いて行います。小学校入学後はよく見かけるランドルト環が多数配列された「字づまり指標」を使用できるようになります。学校の健康診断では、5m離れたところから視力0.3、0.7、1.0の見え方を検査することから370（サンナナマル）方式と呼ばれています。判定はABCDの4段階評価（A=1.0以上、B=0.9～0.7、C=0.6～0.3、D=0.3未満）を用いており、児童生徒の場合は左右どちらか片方でも1.0未満（B以下）ならば眼科受診を勧奨することになっています。「1.0が判定できないくらいで眼科受診が必要なの？」と思いがちですが、子どもの視力低下は眼球の器質的病変が原因だけではなく、心の状態も視力に影響することがあります。これを心因性視力障害といいます。そのため、眼科にて専門的な検査を受けることはとても大切です。

視力低下のサインには、①テレビやタブレットの画面を近づけて見ようとする、②物を見るとき顔や首を傾げる、顔を斜めにする、③よく目をこする、④まばたきが多い、などがあります。このようなサインが見られたら視力検査を受けてみてはいかがでしょうか。私は長年、養護教諭として子どもたちに関わってきました。保健室にある視力検査コーナーはいつも子どもたちの人気の場所でした。あるとき、子どもたちだけでなく、なんとそこには親御様の姿もありました。お子様と一緒に視力検査をすることで、親子で生活習慣を考えるきっかけになっていたようです。その様子は大変微笑ましく、今でも思い出す懐かしい光景です。

【参考文献】

文部科学省:令和6年度学校保健統計確定値

(https://www.mext.go.jp/content/20250213-mxt_chousa01-000040132_1.pdf)

公益社団法人日本眼科医会 (<https://www.gankaikai.or.jp/index.html>)